

日本港湾経済学会年報

港湾経済研究

港湾とヒンターランド

NO.26

1988

日本港湾経済学会編

序

日本港湾経済学会会長 北 見 俊 郎

日本港湾経済学会は本年をもって第27回全国大会を三たび北海道にて開催され、この「年報」も第26号をむかえることができましたことを心から感謝いたします。今回の共通論題は「港湾とヒンターランド」という港湾経済の基本的な課題であります。この「年報」はその共通論題と共に各位の自由論題、書評、学会記事等を併せて編集されましたが、27年に亘るそうした活動が、学会の目的を達成すると共に、港湾研究の学的形成に貢献しうるものと信じてやみません。

本年度大会の開催に当っては、北海道部会の方々をはじめ、各地の関係者各位の御尽力と、この「年報」が刊行されるかげには学会員御一同による物心両面の御協力があり、さらに事務局各位、文化印刷㈱等々の多くの誠意のおかげと厚く御礼を申し上げます。

この「年報」の編集後記にも述べられてますように、近年における学会のもつ国際性、研究発表希望者の増大等に対応し、「新しい酒は、新しい革袋に」すべく学会や「年報」等も本格的に再検討し、より公平にして自由な、開かれた研究・討論の場に致したいと念じてます。何とぞ皆様の御指導と御協力によって、この学会の使命が達成され、より充実した「年報」となりますよう祈ります。

(昭和63年・夏)

目 次

序	北見俊郎
<hr/>	
研 究	
共通論題	
戦後北海道港湾歴史の特色	和泉雄三(1)
ヒンターランドの類型化と領域の測定	千須和富士夫(17)
港の背後地とネットワークについて	山上徹(35)
西海岸と港湾背後地造成の課題	朴餅洪(53)
港湾空間を活用した地域活性に関する一考察	金井萬造(69)
	北原良彦
四全総における地域交通ネットワークの 形成に対する一考察	神代方雅(83)
自由論題	
掛塚湊の歴史的変遷	谷任(98)
産業の発展と港湾	日比野光伸(114)
韓国港湾の現況と港湾機能の方向	金洪基(128)
横浜港における港湾労働者規制法の史的考察	大森秀雄(142)
後発コンテナ港の成長が 先発コンテナ港の後背圏に及ぼす影響	郭圭錫(155)
港湾政策の形成	松浦茂治(168)
<hr/>	
書 評	
横内憲久・横内研究室著	
『ウォーターフロント開発の手法』	安彦正一(179)
山上徹編著『国際物流概論』	富田功(184)
Jean-Georges Baudelaire	
「Port Administration and Management」	香川正俊(190)
<hr/>	
学会記事	
第26回全国大会(清水港)概要	(194)
シンポジュウム概要	(195)
部会活動状況他	(207)
編集後記	(209)